月刊情報誌 No.20

発 行 特定NPO環境リサイクル肉牛協議会 北海道帯広市西20条北2丁目 20-4 東洋内 TEL 0155-58-1129

e-ビーフNEWS 北の牧場から

August 2015

十勝に真夏

やってきました。連日30℃超しの真夏日。内地とは変わらず、大変な暑さです。じりじり肌も焼けますね。 湿気がないだけベトベト感がないですが。いつも帯広は、道内でも突出して(時には全国)、温度が高いです。 これは十勝の得意地形がなさる技。日本海から来る気象が大雪山系を渡ってくるのが一因。大陸系ですね。

干ばつは続き、春からまともな雨が降っていません。畑の土はパサパサで、スコップの刃先まで掘ってやっと湿り気がある程度。土が上空に舞い霞のようです。それでも植物は育ち、トウモロコシも穂を出し始めました。じゃがいもを掘るとイモがごろごろ。ちょっと小さいですが、しっかりできるものですね。水分が足りないせいかホコホコの粉吹き新じゃがでおいしかったです。植物は、水分を根から吸収する以外に、葉の気孔から空気中の水分を吸収し、成長するそうです。砂漠のサボテンがそうですね。

先日からやっと、雨が降りました。それからずっと、曇天や雨。小麦刈りが始まったばかりなのに皮肉ですね。小麦は、十勝の耕作面積2割を占める主産物。このまま雨が続くと厳しいですね。

厳しいと言えば、TPP交渉の内容。牛肉、豚肉関税率はほぼ事前に広報?された数字が巷を走っていますが、ほぼ間違いないでしょう。風土・土壌の違う海外商品とは、生半可な戦いでは勝てないでしょう。現状の高値相場に踊らされることなく、今のうちに自分たちの強みを見出し、検証を進めてゆきましょう。



活動のお知らせ

- ●7月10日 総会資料送付・近隣会員には、訪問し配布
- ●7月21日(火) 現地調査・検討会① 内藤アンガス牧場、宮北牧場視察:佐藤・花房・青山 e-びーふ認定調査
- ●9月12日(金)·13(土) 酪農畜産大学 畜産学会 日本産肉研究会主体事業講演 大会テーマ「日本畜産への問題提起と赤身牛肉生産の可能性」 S1.これでいいのか、日本の畜産(13:10-)(座長:小笠原英毅(北里大学))
 - 1)TPP締結前夜 北海道肉牛の残された道/直近のデータ分析からシュミレーション 花房 俊一氏(東洋食肉販売株式会社十勝工場 所長)
 - 2)北海道における完全放牧による肉牛生産の実践 西川 奈緒子氏(様似町)
 - 3)販売者としての観点から、生産や販売の問題を(6月中に内諾予定) 磯野 健雄氏(ワタミファーム&エナジー株式会社 社長)
- ●現地調査・検討会を下記の日程で行います。参加できる方は、ご連絡ください。
 - ②8月12日(水)~13日(木) 標茶町 TACSしべちゃ、標茶町(池田町長面会) 釧路市 榛澤牧場
 - ③9月24日(木)~25日(金) 雄武町 JAおうむおよび周辺農家

NEWSばか読み

- 土地利用確認調査 自治体の9割 農地の適正課税滞る 6/24: 耕作放棄地の拡大一因
- FAO 国際食料品相場下落 8年ぶりの低価格 6/24:日本の食料品がなぜ上がるの
- バター 29年ぶりの高値相場 6/24:仕掛けられているよ
- 米国上院 TPA法案可決 TPP妥結土台完成 6/26:米国は国益ではまとまるね
- 総務省 5月家計収支 増税後初の増加 6/27:家計は出るだけ出るよ
- ゴルフ会員権下落 プレイヤーの高齢化が原因 6/27: じぃーちゃん何やるの
- コープさっぽろ 電力小売りに新会社設立 6/27:生協のエネルギー販売も本格化
- 人工授精師会 14年度種付け交雑33.6%で3.5%アップ 6/27:ホル去勢いなくなる
- 子実トウモロコシ栽培が拡大の兆し 6/30:いやーコーンの国産化がやっと動くか
- JA全農 主食米から飼料米への転換でCM 6/30:農家の固守感強いな
- スパー各社精肉売り場 今年、焼肉販売を強化 7/1:相場の高騰転嫁できるか
- 太陽光発電農地転用4,000ha超し 7/2:食べ物とエネルギーの取り合い
- 米国 キューバ54年ぶりに国交回復 7/2:仲良くなりたいね隣人同士
- 総務省 全国人口126百万人減少が続く 3大都市圏に51%集中 7/2:集中と過疎化
- プリマハム伊藤忠 中国山東省に食肉事業で進出 7/2:中国に精肉アクセスがほしいね
- 百貨店大手 6月増収 訪日客で消費伸びる 7/2:円安効果てきめん
- 穀物国際相場 トウモロコシをはじめ大幅高 投機筋の資金流入 7/2:プレイするな
- 和牛素牛価格加熱 70万円超し最高値更新 7/3:土台が高くなる
- 農水省 主食米から飼料米転換にヤッキ 7/4:政策が続くのか農家の不信感増大
- スーパーのおコメ販売 チョイ増量でお得感演出 7/6:ちょっとした工夫だね

- ユネスコ 世界遺産に明治産業革命遺産を登録 7/6:強制労働も遺産
- 原発ゼロ 2年ぶりに解消 川内原発に燃料棒挿入 7/8:始まっちゃった
- ブリックス銀行設立 7/8:金融業にも新興国が進出 欧米主流に一風
- 産総研 肉牛生体から霜降りの数値化スキャナー開発 7/9:初めから分かっちゃうの
- セイコーマート 酪農に親子招待農業体験 7/9:コンビニもここまでやるの
- JA津別 21年度めどに国産飼料100%牛乳生産を 7/9:先行しているね
- 別海町 国内最大規模のバイオ発電完成 7/10: 酪農地帯 牛の糞尿が金に変る
- 豚枝肉相場高騰670円超 PEDの影響 7/10:バランス崩れると相場高騰の様相

7/16:日本に合った種牛を望む

- 全日本あか牛枝肉共励会で木古内産最高賞。 A4/24カ月齢560kg@2,600 7/10
- ホクレン 電力小売りに参入 酪農家に供給 7/11:安く提供しろよ
- 農水省 畜産統計 肉牛・酪農家の減少が深刻 7/11:小さな農家が先つぶれ
- TPP豚肉 差額関税撤廃 低額従量税 7/15:ハムソ原料急落し豚価に影響。
- オリックス 長野で「八ヶ岳ブランド」野菜工業新設 7/15:異業種参入進む ● 酪農業界 純日本産種雄牛生産JサイヤーPJ始動
- 6月生乳生産 2年ぶりに前年超え 7/17:やっと底か
- 米価低迷で離農相次ぐ 7/17:コメ作農家は深刻だね
- 三菱樹脂 植物工場で薬用カンゾウの国産量産化成功 7/17: 異業種の農業参入急
- TPP交渉 バター脱脂粉乳で輸入枠設定 7/18/:乳製品自由化の先駆け
- ひかり牧場(旭川)日本酒粕を使った生産方式確立 7/18:やるね
- 鹿児島JAあいら 耕畜連携で和牛繁殖頭数に歯止 7/20:流れができてきた
- 静岡 獣害対策電気柵で感電死傷事故 7/20:通電柵で電気柵には迷惑
- 世界銀行 14年GDP ブリックスがG7に迫る勢い 7/21:新興国とは言えないぜ
- 安部首相 新国立競技場建設計画が白紙 7/22:ぬぐいきれない失政相次ぐ 支持率低下
- ▶ 十勝農作業受託協 TMRセンターで供給農家の減少が課題 7/22:肉牛に使わして

東京直近NEWS (7/30 Shi-REPORT)

ホルス 枝相場は上げ下げを繰り返し、やや下げ傾向も依然高値には変 わり無し。ホルス枝相場@1100前後での推移。販売状況は、梅雨明け の遅れと猛暑から売行きは良くない。特に末端では、切落しの販促特売も 打たないことから停滞状況。パーツも構成比の大きいモモ赤身とバラの 引き合いが弱くパーツ自体の荷動きが鈍い。7月下旬から、盆前後の問合 せがやや増えてきた。盆休前のオーダー問合せ増傾向で荷動きの回復に 期待感あるも、現段階ではまだ賑いが弱い。

経産牛 7月、枝相場は高値安定のまま。C1等級のガリ枝でも@700 台からの状況。パーツ需要は依然引合い強く、各部位不足状況。特にヒレ、 赤身、バラなどが欠品しており肥育牛とは別の荷動き。バラや赤身は加工 品原料や安価な国産牛スライス材としての用途で特に引き合いが強い。 頭数の絶対量が不足していることから手当が難しい状況。挽き材は再三 の値上げ交渉から、やや動きが鈍くなっている。逆に豪州産は比較的安価 で出回っており、輸入物にシフトしている。

左先生の畜産学研究NEWS

ギリシャ国民は投票で緊縮策に反対を選び、ユーロ圏首脳は長時間協 議の末、スペインやイタリアへの波及を恐れたのか、離脱回避を図りまし た。一方、わが国では11もある安全保障関連法案が国民の不安を残した まま16日に衆院通過しました。これで安倍政権は報道の世論調査で支持 率を38%に低下させ、念願の憲法改正の目も無くなったと言う説もあり ます。月末には非公開で行われてきたTPP交渉加盟12か国の首席交渉官・ 閣僚協議に入り大筋合意、署名、発効に向けた動きが活発化します。カナ ダの動向に注目という考え方もあるようですが関税撤廃の性格上、成立 すれば企業や家計には恩恵もありますが、わが国農業への打撃は大きく、 後継者問題、耕作放棄地対策などを企業任せにせずしっかりと日本の食 糧・農業政策の展望を示して欲しいものです。政治は本当に判らないこと が多いと思いました。e-びーふNews20号の学術情報は「畜産技術」の畜 産・肉牛関係記事の内容からです。十勝畜産統計の解説は紙面の都合で次 号にします。

1. 2015.5 技術レポート 十勝若牛を用いた枝肉の客観的評価値と消費 者食味特性との関連性(口田圭吾: 帯畜大)

約14ヵ月齢仕上げの乳用種肥育牛(十勝若牛)のリブロース、サーロイン について画像解析形質と消費者の食味評価、枝肉格付け形質との関連性 を検討しました。十勝若牛の枝肉形質と画像解析形質のうち脂肪面積割 合、iBCSおよび月齢は食味試験の「やわらかさ」「ジューシーさ」「好まし さ」と負の相関が見られ、十勝若牛の枝肉格付形質および画像解析形質の うちiBCSと月齢が食味形質に関係しており、十勝若牛の食味を枝肉段階 で判別できる可能性が示唆されました。

2015.6技術レポート 肉用牛の効率的生産および脂肪交雑推定に関す る研究(橋元大介 長崎県農技開セ)

肉量・肉質を重視するわが国の牛肉生産では黒毛和種も交雑種(黒毛和 種♂とホルスタイン♀)も脂肪交雑重視の肥育技術は変わらず肥育期間の 長い黒毛和種では早期仕上げに向けた取り組みの中で肥育前期に粗飼料 多給(濃厚飼料からのTDNを60%に制限する)のマニュアル作りが行わ れ、その効果が有効とされています。交雑種では、Vt A, Cの制御と共に肉 質に影響のある黒毛和種♂の遺伝的特性で増体型と肉質型に分けてマ ニュアルを作製し効果を上げています。牛肉の「美味しさ」は脂肪の質に より支配され、米ぬかや脂肪酸Caの給与は香りの良さ、風味の好ましさな ど食味性向上の効果があり、生体時の超音波診断画像解析によるBMS推 定値と実測値に有意な相関が見られました。

道総研 畜産試験場NEWS

グラスサイレージ給与による黒毛和種去勢牛の育成肥育Ⅲ② 畜産試験場肉牛グループ 遠藤哲代

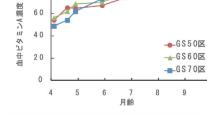
日増体量 (kg)

	0050=	S50区 GS60区		ρ	
	G2201 X	68601 <u>×</u>	65701 <u>×</u>	1次	2次
前期	0. 79	0. 71	0. 62	0. 014	0. 861
中期	1. 11	1. 04	0. 99	0. 018	0. 857
後期	0. 93	0. 85	0. 71	0. 005	0. 645
全期	0. 95	0. 87	0. 78	0. 001	0. 774

前期:4.0~5.9ヵ月輸、中期:5.9~7.8ヵ月輸、後期:7.8~9.7ヵ月輸

体高・体長の推移 130 (cm) 130 体長 120 120 110 100 100 -GS50区 **▲**GS60区 90 90 **—**GS70区 80 80 9 10 8 9 10





肥育農家への譲渡頭数

血中ビタミンA濃度の推移

100

(ID/II) 8 0

1頭当たりの飼料代

	GS50	GS60	GS70	乾草
GS	15, 024	16, 152	17, 826	8, 074
濃厚飼料	31, 740	23, 051	16, 770	42, 407
合計	46, 764	39, 203	34, 596	50, 481
乾草給与 との差額	3, 717	11, 278	15, 885	

原物1kg当たりの価格 GS:6m、育成用配合飼料:65m、圧ぺんとうもろこし:52m、乾草:25m

GSを70%まで高めると

- ·NDF割合の増加により、乾物摂取量は低下
- ·CP·TDN摂取量が低下し、日増体量が低下
- 体高・腹囲は差はなかった

代償性発育により、GS50区に匹敵する発 育・枝肉成績を示す可能性が考えられる

肥育農家に譲渡して試験継続

	GS50区	GS60区	GS70区
A牧場	2	2	4
B牧場	4	4	2
	1		

A牧場の肥育成績について紹介

体重の推移 800 600 (kg) 500 **州 400** ●GS50区 (2頭) ▲GS60区 (2頭) 300 ■GS70区 (**4頭**) 200 21 24 10 18 月齢

